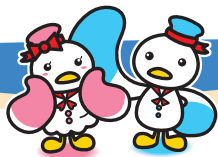


伝言板

No.44(R 7.11)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

助成活動.....	1	着ぐるみ貸付事業	
みなとサポート事業.....	5	「根室港 海とみなとパネル展」	8
メールアドレス登録のお願い.....	7	「留萌港みなと見学会」	9
		令和7年度 事務局・支部体制.....	10

助 成 活 動

北海道内の「みなとまち」の魅力を高め、地域の活性化を図ることを目的に、平成20年より実施している「みなとまち活性化助成事業」。今年度で18回目を迎えました。

令和7年度も、各開発建設部の「みなとの相談窓口」からの推薦を受け、当機構ホームページおよび広報誌「伝言板」にて募集要領を掲載し、4月2日から5月7日までの期間で募集を行いました。

申請状況

- ・一般の部：8団体より8件
- ・特定の部：2団体より2件

評価審査委員会の開催

採択事業の決定に向け、5月21日(水)午前より(一社)寒地港湾空港技術研究センター会議室にて「評価審査委員会」を開催しました。

委員会は、学識経験者2名、当機構理事長および理事で構成され、各申請事業について、地域住民と

の連携状況や過去の開催実績などを総合的に評価しました。

採択結果

審査の結果、申請のあった一般の部8件、特定の部2件すべての事業を採択。各事業に対し、5万円から15万円の助成を行うことが決定しました。

今後も、地域に根ざした活動を支援し、北海道の「みなとまち」がより一層輝くよう、皆さまと共に歩んでまいります。

採択事業

(一般の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・海の日コンサート ・みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭	・国民の祝日「海の日」に海への恩恵や感謝をこめ、なつかしい海にちなんだ歌を歌って元気に発信する。年齢も幼児から大人迄幅広い年代での交流を含む。 ・マリン少年少女合唱団のささやかな合唱を、市民の幅広い年代とのコラボで野外での開催	・7月21日(月) 海の日 ・室蘭水族館広場

	活 動 体 名 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
②	・ 漁港区の美化活動 ・ みなとに係わる音楽関連活動 ・ 女性みなと街づくり苫小牧	・ 「ホッキまつり」や観光客など、人の往来に彩りを添える季節の花を植え、美化活動を推進する。 ・ 季節のコンサートやみなとピアノを通して港への理解と施設の魅力をPRする。	・ 6月～9月 ・ 12月、3月 ・ 苫小牧港西港区漁港区、西港・東港各フェリーターミナル
③	・ 第21回 WAKKANAI みなとコンサート ・ 稚内のみなとを考える女性ネットワーク	・ 北海道遺産である北防波堤ドームを利用することで、地元の方々に稚内港の魅力を伝え、港をもっと身近なものと感じてもらうことで、今後の港の活性化に貢献することを目的とする。 ・ 地元団体の歌やダンスの発表の場とする	・ 7月12日(土) ・ 稚内港内 (北防波堤ドーム)
④	・ 紋別港防波堤イルミネーション事業 ・ みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク	・ 観光客の多く訪れる海洋交流館前、防波堤等にイルミネーションを設置し、冬期の紋別港の景観を向上させることで、観光客の誘客及び周辺施設の利用促進を図る。	・ 令和8年2月 ・ 紋別市海洋交流館横 ・ 紋別港第3防波堤
⑤	・ 室蘭入江臨海公園美化作業 ・ みなとオアシス室蘭運営協議会	・ 中央埠頭に隣接する入江臨海公園の美化活動を行うことで、植樹環境の整備をするとともに、更なる景観の向上及び市民の憩いの場として親しまれる港を目指す。 ・ 植物残渣の清掃や浮標の再塗装等を行う。	・ 6月1日～6月30日 ・ 室蘭入江臨海公園



①海の日コンサート（室蘭港）



②漁港区の美化活動（苫小牧港）



③ WAKKANAI みなとコンサート（R6年実施状況写真）



④紋別港防波堤イルミネーション事業（R7年2月実施状況写真）

	活 動 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
⑥	・ 釧路みなとオアシス歓迎事業 ・ 釧路みなとオアシス協議会	・ クルーズ客船の寄港時における来訪者への歓迎体制を強化し、地域のホスピタリティ向上と再訪意欲の喚起を目的とする。 ・ 横断幕を作成・設置することで、より多くの来訪者の目に触れやすい歓迎環境を整備し、地域全体での一体感あるおもてなしを実現する。	・ クルーズ船寄港時 ・ 釧路東港区耐震旅客船ターミナル
⑦	・ みなとアート作品集製作事業 ・ 留萌みなとまちづくり女性ネットワーク	・ 留萌港をテーマとしたパッチワークアート事業は、「灯台」「船」「夕陽」「花火」など、多彩な作品を生み、多くの来場者に感動を与えた。 ・ この作品群を“みなとアート作品集”として製本し、児童・生徒・一般市民にふれてもらうことで、留萌港を考える機会を増やしていきたい。	・ 作品集は、市内学校、公共施設等に寄贈
⑧	・ Port Clean in 留萌 ・ みなとオアシスるもい運営協議会	・ 海の日近辺に合わせて、留萌港内の清掃及び漂着ごみのごみ拾いを実施し、留萌港及び周辺環境美化を図り、市民に愛される港とする。	・ 7月11日(金) ・ 留萌港



⑤室蘭港入江臨海公園清掃作業（浮標の再塗装）



⑦みなとアート作品集製作事業（R6年実施状況写真）



⑧ Port Clean in 留萌

(特定の部)

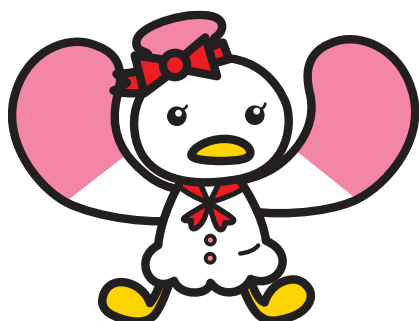
	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・みなと南極まつり稚内副港ボートレース 2025 ・稚内副港ボートレース実行委員会	・稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充するためボート競技のイベントを開催し、継続的に開催することによりにぎわい交流拠点の確立を目指す。	・ 8月3日(日) ・ 稚内第一副港及び稚内副港市場 ～稚内丸善(株)
②	・釧路港舟漕ぎ大会 ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会	・釧路港の利用促進に携わる有志が、海上を舞台に競うことで感動できる舟漕ぎ大会を開催し、みなとまちづくり活動を行っている各種団体との連携を図りながら、活気ある釧路の港まちづくりを目指す。	・ 8月2日(土) ・ 釧路港釧路川 幣舞橋上流



①みなと南極まつり稚内副港ボートレース 2025



②釧路港舟漕ぎ大会



みなとサポート事業

苫小牧支部

◎室蘭港「海の日パネル展」

開催日：令和7年7月21日(月)

開催場所：道の駅「みたら室蘭」2階

開催概要：市民生活と港の関りについて広く理解していただくために、室蘭開発建設部地域連携課と室蘭港湾事務所が、海の日に合わせて道の駅「みたら室蘭」2階で、クイズラリー形式のパネル展示を行いました。

道の駅会場では4問のクイズがあり、全道の港の数、室蘭港の開港時期や取り扱い貨物量の順位、今期の北海道開発計画が何期目かなど、展示パネル約20枚の中から答えを見つけ出すものです。

親子で来場した子どもたちは、おとう

さんやおかあさんの助けを借りて、懸命に答えを探していました。

解答用紙のアンケートには、「むずかしかった」とか「たのしかった」との書き込みが多くありました。

また、港湾業務艇「みさご」のペーパークラフトも用意されており、会場で真剣に製作する大人や、時間が無いために持ち帰る親子も多くみられました。本イベントには、北海道みなとの文化振興機構苫小牧支部から2名が支援しました。

当日の来場者は10時から16時まで約230名。

サポーター：1日2名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネルの説明、室蘭港海の日会のうちわ、及びクイズラリー回答者への当機構記念グッズの配布



札幌支部

◎石狩湾新港「みなと見学会」

開催日：令和7年6月10日(火)～11日(水)

令和7年7月9日(水)～10日(木)

開催場所：石狩湾新港港内

開催概要：小樽開発建設部小樽港湾事務所は、出前講座の一環として石狩市内8小学校の児童を対象に、「石狩湾新港 みなと見学会」を開催しました。(※参考：6月_229名、7月_217名の参加)
当日は、パネルを用いて石狩湾新港が

担っている「札幌圏を中心とした道央圏と国内外を結ぶ海上物流拠点であること」、「LNG などエネルギー関連の輸入拠点であること」など、みなとの役割を勉強したほか、港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し各ふ頭の利用状況や係留船舶を見学し、みなとへの知識を広めてもらいました。

サポーター：1日4名、4日間、延べ16名が支援

支援内容：○救命胴衣の手渡しと着脱補助 ○棧橋の設置撤去補助 ○乗下船の誘導補助 ○当機構記念グッズの配布



小樽港湾事務所
提供



小樽港湾事務所 提供



小樽港湾事務所
提供



小樽港湾事務所 提供

◎小樽港「みなと見学会」

開催日：令和7年7月13日(日)

開催場所：小樽港港内

開催概要：小樽開発建設部小樽港湾事務所は、「マリンフェスタ in 小樽」に参加し、一般市民40名(先着順、20名/便×2便)を対象に「小樽港 みなと見学会」を開催しました。
当日は、港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し小樽港マリーナを出発、勝納ふ頭、

港町ふ頭、第3号ふ頭、北防波堤と移動しながら各施設の利用状況等を見学していただき、小樽開発建設部が行っている港湾事業への理解を深めてもらいました。

サポーター：4名が支援

支援内容：○受付者の整列 ○救命胴衣の手渡しと着脱補助 ○乗下船の誘導補助 ○当機構記念グッズの配布



小樽港湾事務所 提供



小樽港湾事務所 提供



小樽港湾事務所 提供

函館支部

◎函館港「みなとパネル展」

開催日：令和7年7月19日(土)10時～16時
7月20日(日)10時～15時

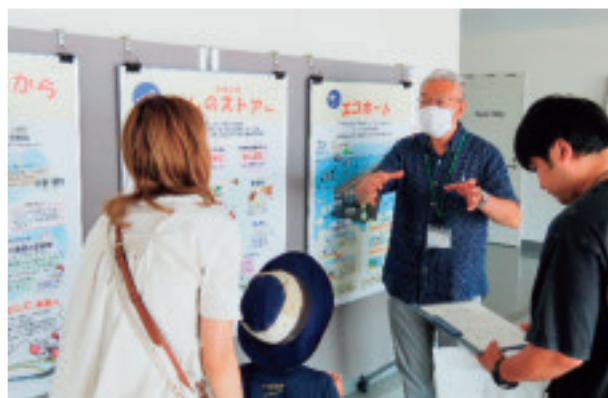
開催場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター 2階

開催概要：「はこだてマリンフェスティバル」に協賛して市民生活と函館港の関りについて広く理解していただくために、函館開発建設部函館港湾事務所が、みなとの役割に関するパネル8枚およびケーソン等の模型を展示。
2日間でのパネル展来場者は721名(19日326名、20日395名)。

サポーター：19日(土)1名、20日(日)2名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネル等の説明、クイズサポート、当機構記念グッズの配布

【支援状況】



メールアドレス登録のお願い

当機構の活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当機構では、Webサイトの更新情報や活動報告をメールニュースとしてお届けしております。皆さまに迅速に情報をお届けし、より深い関係を築くことを目指しています。

ご登録は非常に簡単です！

本ページのQRコード、またはWebサイトのトップページから登録フォームにアクセスし、お名前とメールアドレスをご記入ください。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



着ぐるみ貸付事業「根室港 海とみなとパネル展」

令和7年7月20日(日)に「海の月間」行事の一環として、根室港漁業協同組合上屋で開催される「海のフェスティバル」(主催：根室港海の日の会)において、釧路開発建設部根室港湾事務所では「海とみなとパネル展」を展示しました。パネル展は、根室港の事業紹介・利用風景・根室市の水産業の概要等を紹介しました。パネル展以外にもヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、風船の無料配布のほか、北

海道における港の公式マスコット「ぽーとん」「べーくりん」が参加し、多くの子ども達から絶え間ないハグや写真撮影の要求があり大変好評でした。

また、当日は「第67回ねむろ港まつり」が開催され、根室港湾事務所の港湾業務艇「ふよう」で一般市民を対象とした「根室港みなと見学会」を実施したほか、舟こぎレースや屋台出店、などが行われ多くの家族連れで大いに賑わいました。



着ぐるみ貸付事業「留萌港みなと見学会」

留萌開発建設部 留萌港湾事務所では、令和7年8月3日(日)にNPO法人留萌観光協会、留萌市主催の「夏のこどもウニ獲り体験 2025」の開催とあわせて、みなとオアシスるもい運営協議会と協力して「留萌港みなと見学会」を開催しました。

「留萌港みなと見学会」は、港湾業務艇「ゆりかもめ」に乗船し、留萌港の役割や特徴を聞きながら見学することで、港に親しみを持っていただき、港湾事業への理解を促進することを目的として毎年開催しています。

「みなとオアシスるもい」関連施設の黄金岬海浜公園で乗船受付会場を行い、ここに北海道のみなと

キャラクター「ぼーとん」と「べいくりん」が登場しました。8年ぶりに留萌に登場したカモメのキャラクターに、子供のみならず大人の方にも人気で、握手やハグをされるなど会場は賑わい、記念撮影なども行いました。

受け付け終了後、「ぼーとん」と「べいくりん」は乗船場所の留萌港湾事務所へ移動し、乗客に手を振ってお見送りしました。

当日は「夏のこどもウニ獲り体験 2025」の他にも「第3回世界磯ガニ釣り選手権」や「るもいSUP試乗体験会」も開催されており、天候にも恵まれて多くの家族連れで賑わいました。





令和7年度 事務局・支部体制

令和7年度の事務局は、8月までに1名の事務局次長が退任し、新たに1名が着任したことにより、現在15名体制で活動を行っております。また、札幌支部、函館支部、苫小牧支部、釧路支部においては、役員の変更なく、これまで通り安定した運営を継続しております。

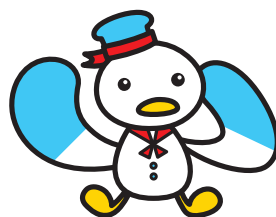
今後も、地域の皆様と共に、活力ある「みなとまちづくり」を推進してまいります。会員の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局

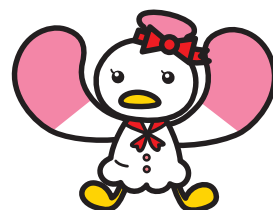
役職	氏名	役職	氏名
事務局長	上田 裕章	事務局次長	牧田 佳巳
事務局次長	高木 哲夫	事務局次長	栗林 則夫
事務局次長	宮部 秀一	事務局次長	井元 忠博
事務局次長	渥美 洋一	事務局次長	鈴木 泰弘
事務局次長	平尾 利文	事務局次長	増田 亨
事務局次長	秋浜 政弘	事務局次長	斉藤 敦志
事務局次長	石川 洋一	事務局次長	松尾 義雄
事務局次長	飯田 誠		

支部

役職	氏名	役職	氏名
札幌支部長	千葉 不二夫	苫小牧支部長	秋葉 洋一
札幌支部次長	今林 弘	苫小牧支部次長	竹腰 隆志
函館支部長	川村 求	釧路支部長	佐藤 浩彰
函館支部次長	中村 篤	釧路支部次長	伊藤 文彦



ぽーとん



べいくりん

事務局連絡方法

当機構事務局へのご連絡は、以下のいずれかの方法でお願いいたします。

電話／FAX：011-727-3710

E-mail：bunka-npo@kanchi.or.jp

※事務局は常駐体制ではないため、ご返答までに一週間ほどお時間をいただく場合がございます。

何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

また、当機構の活動状況につきましては、公式ホームページにて随時更新しております。ぜひご覧ください。

<https://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5F